様式第 22

先端設備等導入計画に係る認定申請書

令和５年１０月２０日

瑞穂市長　殿

住　　所　〒０００－００００
瑞穂市宮田●●●●
名 称 及 び　株式会社●●●●
代表者の氏名　代表取締役　●●●●

中小企業等経営強化法第５２条第１項の規定に基づき、別紙の計画について認定を受けたいので申請します。なお、計画認定の審査にあたり、市税の納入状況等を調査することを承諾します。

別　紙

先端設備等導入計画

1　名称等

1	事業者の氏名又は名称	株式会社●●●●
2	代表者名（事業者が法人の場合）	代表取締役　●●●●
3	法人番号	○○○○○○○○○○○○○
4	資本金又は出資の額	○，○○○万円
5	常時使用する従業員の数	○○人
6	主たる業種	輸送用機械器具製造業

2　計画期間

令和５年１１月　～　令和８年１０月

3　現状認識

①自社の事業概要

当社は、独立系の自動車部品製造業者であり、独自の鋳造技術による高性能エンジン部品が主な製品であり、主に国内の大手自動車メーカーに販売している。

②自社の経営状況

売上は令和４年３月９０，０００千円、令和５年３月期１００，０００千円と増加しており、営業利益についても令和４年３月期４，５００千円、令和５年３月期６，０００千円と増加している。

昨今の円安傾向により今後自動車の輸出が増加することが見込まれることに加え、提携先を活用した独自ルートにより海外販売先の開拓も進んでいることから、今後は輸出販売を中心に受注増が予想される一方で、海外部品メーカーとの競合が激化する見込み。

4　先端設備等導入の内容

（１）事業の内容及び実施時期

①具体的な取組内容

既存の設備は老朽化が進んだ結果、歩留まり率が悪化しており、また、生産量に限界があることから、今般の受注拡大や競合メーカーとの競争力強化を図るため、最新の生産設備への入替えを計画している。

最新のプレス機械、油圧ハンマー、フォージングロールの導入により生産ラインの刷新を行うことで、歩留り率の改善による製造原価の低減や、生産量の拡大による売上の向上を図り、当社の強みである高性能エンジン部品の国際競争力を強化することを目的とする。

②将来の展望 ・新たな設備の導入により、生産能力が向上することに伴い、受注拡大が見込めることから売上の増加を図る。 ・また、高精度な加工が可能になることから、歩留まり率が向上し、製造原価を低減させることができる。 ・担当者の熟練度によるばらつきも抑えることができるため、限られた人員でより多く生産できる体制を構築することでき、生産性の向上を実現することができる。

（２）先端設備等の導入による労働生産性向上の目標

現状 （A）	計画終了時の目標 （B）	伸び率 （B－A）／A
５，０００千円	５，４５０千円	９．０％

（３）先端設備等の種類及び導入時期

	設備等名／型式	導入時期	所在地
1	プレス機器／PR123-45	令和５年１２月	瑞穂市宮田●●●●
2	空調設備／HM4321	令和５年１２月	瑞穂市宮田●●●●
3	測定機器／FR21-2	令和６年３月	瑞穂市宮田●●●●
4		年　　月	
5		年　　月	

	設備等の種類	単価 （千円）	数量	金額 （千円）	備考
1	機械装置	40,000	1	40,000	
2	建物附属設備	15,000	1	15,000	
3	器具備品	45,000	1	45,000	
4					
5					

	設備等の種類	数量	金額（千円）
設備等の種類別小計	機械装置	1	40,000
	建物附属設備	1	15,000
	器具備品	1	45,000
合計		3	100,000

５　先端設備等導入に必要な資金の額及びその調達方法

使途・用途	資金調達方法	金額（千円）
先端設備導入購入資金	融資	80,000
先端設備導入購入資金	自己資金	20,000

６　雇用に関する事項

令和５事業年度（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）において、雇用者給与等支給額を令和４事業年度と比較して１.５％以上増加させる方針を策定し、同方針について、令和５年１０月１０日に従業員代表の賃上　太郎に対して表明した。